

平成21年3月30日
消 防 庁「新発信地表示システムと位置情報通知システムの
統合のあり方に関する検討会報告書」の公表

現在、119番通報に係る位置情報の主な取得方法として、固定電話（NTT東西）による「新発信地表示システム」と携帯・IP電話による「位置情報通知システム」が整備・運用されていますが、消防指令業務を遂行する際にこれら両方のシステムを使い分ける必要があるほか、指令システムの複雑化等を招くとの指摘を受けていたところ
です。

そこで消防指令業務をより効率化することなどを目的に、「新発信地表示システムと位置情報通知システムの統合のあり方に関する検討会」を開催し、システムの統合に係る検討を行いました。

今般、「新発信地表示システム（NTT固定）」と「位置情報通知システム（携帯・IP）」を統合するための検討結果が報告書として取りまとめられましたので、公表します。

【別添資料】

「新発信地表示システムと位置情報通知システムの統合のあり方に関する検討会報告書」のポイント

※ [報告書全文](#)については、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>) に掲載します。



連絡先

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室

担当：森田補佐、相越事務官

電話 03(5253)7526（直通）

FAX 03(5253)7536

「新発信地表示システムと位置情報通知システムの統合のあり方 に関する検討会報告書」のポイント

1 統合システムの運用開始時期及び並行運用期間について

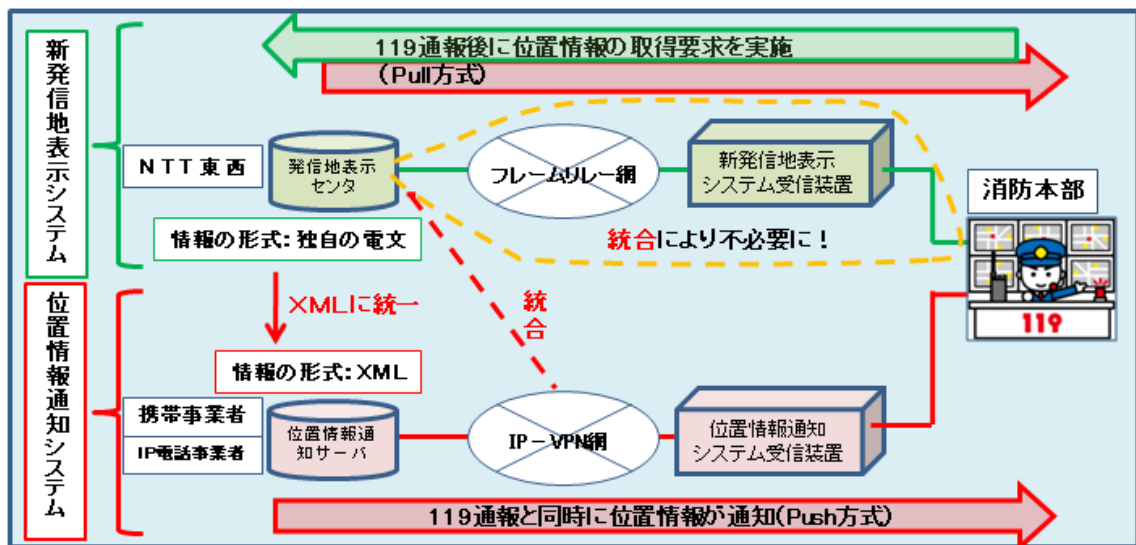
「新発信地表示システム（NTT 固定）」と「位置情報通知システム（携帯・IP）」を統合したシステムの運用開始は平成21年度第3四半期を目途とすることとなった。

また、従来の「新発信地表示システム（NTT 固定）」の並行運用期間については、消防本部側の端末（検索制御装置等）の保守期限が6年間であること等を考慮し、平成21年度第3四半期から6年間とすることとした。

なお、原則6年とするが、それ以降については個別に調整することとする。

2 統合化の方式について

従来の「新発信地表示システム（NTT 固定）」の発信地表示センタを位置情報通知システムのIP-VPNに接続すること、NTT 固定の位置情報送信は位置情報取得方式（Pull方式）のみに対応すること、NTT 固定の位置情報の電文方式は「位置情報通知システム（携帯・IP）」の方式のXMLに合わせることとした。



3 保守運用について

保守運用スキームについては、「位置情報通知システム（携帯・IP）」に合わせることを基本としつつも、細部については実務担当者レベルでのWG等を開催し、引続き検討することとした。

4 実証試験について

今後、システムの統合化に向け、関係者がそれぞれ作業を行っていくことになるが、円滑な運用に資するため、運用に先立って消防庁において実証実験等を行うこととしている。